

プレジデント・ミッション  
2008年度 業務総括

### 業務全般

- 都道府県協会と地区ノ市区郡町村協会の組織化において、47都道府県協会と102の地区協会、392の市区郡町村協会との正式関係が構築された。
- キッズプログラムの活動は質量ともにますます充実し、巡回回数は全国で約1万回、フェスティバルは約400回を実施、その他イベントを含め延べ約65万人が参加した。
- ジョイントミーティングを各カテゴリーで延べ8回実施した。総参加者583人にJFAの考えが良く伝えられたとともに、大きなネットワークが形成された。また、ミーティングに対する参加者の評価は5段階評価の4.2平均と高く、参加者の満足度も高かった。
- JFA スポーツマネジャーズカレッジ(SMC)で新たにサテライト講座を開設し、9府県で実施した。
- 天然芝の普及を目的に、誰にでもできる安価な芝生づくりとして「ポット苗方式芝生化モデル事業」を企画し、29か所に無償で芝生の苗を提供した。結果として、2009年度の申請が100件を超えるなど、芝生化に向けた機運が全国的に高まりつつある。
- キッズ年代でサッカーに出会った子供たちが、男女ともに小学生・中学生と育つ過程でも、また大人になってもサッカーに親しみ続けていく環境を整えるため、各年代のサッカー関係者による組織の壁を超えた連携を進めた。特にキッズ年代と小学生年代及び女子サッカーの関係者間での連携が促進された。また新たに実施した「JFA フットボールデー」はスムーズな年代移行を推し進める活動としても有効であり、37都道府県42会場にて全体で42,282名の参加者があった。
- 各種支援制度対象事業の活動取材ならびに担当者からの寄稿を推進し、JFAnews や JFA 公式ホームページを使い、継続して事例紹介や情報共有を積極的に行った。
- 「JFA 都道府県訪問会議」にて、「『JFA2005年宣言』実現に向けたロードマップ」を主要テーマとして取り上げ、主旨徹底を図った。また、JFA 各部長がリーダーとなって同日に複数の都道府県協会で会議を行い、会議期間を短縮できたとともに、都道府県協会それぞれのテーマによる全員参加型のディスカッションを行い、JFA 各部長と都道府県協会役員の間で積極的な意見交換が行われた。

#### M 1:「JFA メンバースhip制度」の推進

- 9地域訪問会議を通じて、サッカーファミリーを2015年までに500万人に拡大していくためのカウント方法及び目標値を提示し、ヒアリングを行った。
- キリンカップにて電子カード「ブルーパス」を試験的に導入し、関係各所からの集約した意見を「チケット JFA」の運用に反映した。
- JFA 公式 HP リニューアル及び FIFA クラブワールドカップと連携を取りながら、「JFA コミュニティ」を通じて審判・指導者登録メンバーへの情報提供を充実させるとともに、「JFA コミュニティ」登録者を約3万7千人に増やした。

#### M 2:「JFA グリーンプロジェクト」の推進

- 天然芝の普及を目的に「ポット苗方式芝生化モデル事業」を実施し、29か所に無償で芝生の苗を提供し、芝生化を推進した。併せて、2009年度の同事業について、113件の申請を受けて49か所に対する無償提供を決定した。
- 誰にでもできる安価な芝生化の手法の紹介を目的に、芝生づくり講座を宮城県で実施するとともに、各種広報活動を実施した。
- 茨城ノ三重ノ福岡ノ佐賀ノ熊本の5か所に都道府県フットボールセンターを整備した。併せて、2009年度のフットボールセンター整備推進事業助成金について、宮城県、奈良県、山口県に交付決定した。
- 全国専務理事会議において、指定管理者制度及び芝生化に関する講習会を実施した。

### M 3:「JFA キッズプログラム」の推進

---

- 11月愛知にて実施したジョイントミーティングや 2009 年度支援制度ヒアリングシートを通じて、「JFA キッズプログラム」を都道府県内全域にて展開していくため、都道府県協会と市区郡町村協会の連携を促進した。
- 都道府県協会の活動状況を集約し、活動カレンダー・アンケート等の分析データの展開を実施した。
- 6 月鹿児島にて実施したジョイントミーティングを通じてコーディネーショントレーニング講習を取り入れ、キッズリーダー養成の内容をリフレッシュした。キッズリーダー養成事業を通じて「JFA キッズプログラム」推進のための人材確保を促進した。
- 6月鹿児島・11月愛知でのジョイントミーティングや4種大会部会・全国4種委員長会議を通じて、Jリーグアカデミー・小学生年代関係者と連携し、キッズ年代から小学生年代へ移行する子どもたちが継続してサッカーを楽しめる環境作りを推進した。地域間での連携を推奨し、8月・11月に関東を中心としたジョイントミーティングを実施することで全国へ好事例として展開した。

### M 4:中学生年代の環境充実

---

- 28 都道府県協会の積極的な活動や中学生年代の都道府県リーグ戦推進等の取り組みも継続して、この年代の活性化を図った。前年に続き、登録数が64チーム、1425人増加した。
- 1年生前半/3年生後半のプレー機会の確保について活動を引き続き推進した。
- 「他年代との連携」を重点取り組み事項として都道府県協会に掲げたことで、多くの協会でユース委員会が立ち上がり、高校の指導者が中学生の指導を行う等、年代を超えた活動が推進された。

### M 5:エリート養成システムの確立

---

- 6 月鹿児島・2 月富山にて実施したジョイントミーティングを通じて、都道府県においてキッズエリート活動が複数の拠点にて定期的に行われる様に、指導者のあり方と自主採算運営に関する好事例を紹介した。
- 指導者養成事業との連携し、2 月富山にて実施したジョイントミーティングを通じて、キッズエリートの指導ガイドライン作成の中間報告を行った。
- 2009 年度支援制度の募集及びヒアリングを通じて、キッズエリートの担当者が、地域/都道府県ユースダイレクター・小学生年代関係者・Jリーグアカデミーと連携していくことの重要性を活動評価の対象とし、協力を促進した。
- 未着手の都道府県協会に対してアプローチし、2009 年度支援制度では42 都道府県協会を対象 FA として採用した。

### M 6:女子サッカーの活動推進

---

- 41 都道府県協会にて73 件の支援制度を行った。
- 高校女子サッカーの全国高等学校体育連盟への加盟を実現した。
- ジョイントミーティングにて、福島県 FA による「ガールズリーグ」の発表を行い、生活圏内での競技会の開催、整備についての重要性を確認した。
- キッズやフットサルに携わる担当者にジョイントミーティングへの参加を促し、取り組み内容の共有とともに連携の強化を図った。

## M 7:フットサルの普及推進

---

- 2 地域 41 都道府県協会にて 75 件の支援制度を行った。
- ファミリーフットサルの定例開催が、先進事例となった大分県大分市に続き、自治体独自の取り組みとして佐賀県武雄市、鹿児島県大崎町で始まった。
- 女子サッカーに携わる担当者にジョイントミーティングへの参加を促し、取り組み内容の共有とともに連携の強化を図った。
- 民間施設の管理運営者とのコミュニケーションを図るという観点から、兵庫県内の民間施設にプレジデント・ミッションの内容や方向性の理解を求める話し合いを行なった結果、兵庫県 FA と民間施設が連携した新たな施策提案を受けた。

## M 8:リーグ戦の推進と競技会の整備・充実

---

- 高校生年代は 40 都道府県協会、中学生年代については 4 地域協会 / 41 都道府県協会にて「地域 / 都道府県リーグ」が支援制度を活用して展開された。残りの地域 / 都道府県についても、年代を超えた関係者間での会議が実施されており、「地域 / 都道府県リーグ」実施にむけ準備が進められた。
- 「『JFA2005 年宣言』に向けたロードマップ」に沿った将来ビジョンを掲げながら、地域 / 都道府県ユースダイレクターや担当者とのコミュニケーション機会を増やし、現状にあった形でリーグ戦が展開できるよう支援制度内容を改訂した。
- 埼玉県の先進好事例を参考に、「小学生年代における日常の生活圏内でのリーグ戦」の展開について、施策を検討、支援制度を確立した。

## M 9:地域 / 都道府県協会の活動推進

---

- 「JFA フットボールデー」を開催した多くの都道府県協会が、この事業の意義を認識したことで、中長期的に継続して取り組んでいく活動としての礎を築いた。
- PHQ タスクフォースのジョイントミーティングを実施。地区 / 市区郡町村協会の活動が「普及」を支えていることを出席者全員で再確認するとともに、今後も継続してコミュニケーション機会を増やし、各種事業を通じての関係構築や交流機会を積極的に推進していくこととした。
- 都道府県チャートについて、新たな評価基準項目を挙げるなどより重要な指標となる様、精度を高めて発行した。

## M10:中長期展望に立った方針策定と提言

---

- 「JFA の約束 2015」を実現するための「アクションプラン 2015」の見直しの一環として、「JFA2005 年宣言」に向けたロードマップの策定に参加した。
- 「JFA2005 年宣言」の浸透 / PR ツールの活用方法について適宜アドバイスを行った。
- JFA / J リーグ将来構想委員会の幹事として「地域リーグ以下の将来像」を提案し、J リーグ / JFL とのスムーズな接続を確立するための議論を進めた。

## M11:スポーツマネジメントの強化

---

- JFA スポーツマネジャーズカレッジ(SMC)本講座を実施し、30 名が修了した。また、SMC リフレッシュ講座を実施した。
- 昨年度のトライアル版を受けて、SMC サテライト講座を 9 か所(熊本 / 島根 / 京都 / 大阪 / 兵庫 / 石川 / 愛知 / 埼玉 / 秋田)で実施し、210 名が受講した。また、SMC サテライト講座のインストラクター養成に着手し、3 名のインストラクター候補を養成した。
- 各種広報活動を積極的に行い、マネジメントの大切さを周知した。また本講座 / サテライト講座ともに定員を超える応募者が集まった。

以上